

八女茶発祥600年

福岡県の県南地域で生産される八女茶。

主な生産地域は、八女市を中心に筑後市、みやま市、広川町、うきは市などに広がっています。

八女茶はその品質の高さから高い評価を得ており、

「日本三大茶」の一つとも言われています。

2023年には、八女茶発祥600年を迎えたことを記念して多くのイベントが開催され、

その内容や八女茶の魅力をご紹介します。



ごあいさつ



福岡県茶業振興推進協議会

事務局長 まつのぶ 松延 ひさよし 久良 氏

恵まれた土地と 生産者が高めてきた品質

福岡県南部に広がる九州最大の筑後平野は、農産物の栽培に理想的な気候風土にあり、特に八女地方は、古来よりお茶の栽培が盛んに行われてきた土地柄です。

八女茶の特徴はその深い味わいと香り高さです。これは、八女地方の気候や土壌が日本茶の栽培に適しているため、特に春先の新芽から作られる初摘み茶

(一番茶)は、その風味と甘みが際立っています。

品質の高さからも高い評価を得ており、「日本三大茶」の一つとも言われています。八女伝統本玉露においては日本茶で初めて地理的表示(GI)保護制度(※)の第5号として登録認証されました。

2023年10月28日に開催された第77回全国茶品評会では、八女市の倉住努氏くらすみつとむが玉露部門で農水大臣賞を受賞、八女市においては同部門の産地賞に輝き、玉露において八女市は日本一となることができました。これも品質にこだわり続けてきた生産者の努力の賜物と言えるでしょう。

八女茶の魅力を身近に感じ それを発信する

八女市で生まれた私の実家は八女茶の生産を行っていました。

高校を卒業するタイミングで八女から離れ、静岡の茶業試験場で2年間お茶の勉強に励みました。帰ってきてからは八女茶の技術者として農業協同組合で4年間勤め、それからは行政で八女茶にかかわる仕事を続けてきました。

お茶とともに過ごしてきた人生の中で、今回の八女茶発祥600周年イベントに携われたことは大変喜ばしく思います。

地域全体で取り組む

一大イベント

「八女茶発祥600年」

コロナ禍も落ち着き、八女茶発祥600年という記念すべき周年を迎え、地域全体を巻き込みゼロから企画を考え、様々なイベントを開催する計画を立てました。日本茶のイベントでは

集客という点で困難なことが多いのですが、今回のイベントでは

多くの方にご来場いただきました。

記念切手や本の出版など、記念品の制作に加えて、企業さまとのコラボのお話もいただいたこともあり、八女茶を盛り上げるイベントとして、非常に内容豊かなものとなりました。

これからの八女茶

八女市の茶業関係者が共通の課題として認識しているのが、生産農家の減少です。そのため、生産農家として働くことの魅力を高めていくことが必要と考えています。今回のイベントを皮切りに皆さまに八女茶に触れていただく機会を増やして、八女茶の発展に尽力していきたいと考えています。

(※)地理的表示(GI)保護制度：地域ならではの自然的、人文的、社会的な要因の中で育まれてきた品質、社会的評価等の特性を有する産品の名称を、地域的財産として保護する制度



福岡の八女茶発祥600年祭 記念式典



2023年10月28日(土)、おりなす八女 ハーモニーホールで開催。午前中に開催された「第77回全国お茶まつり福岡大会」では、全国の茶業関係者等が一堂に会し、八女市も玉露の部において23年連続となる「産地賞」を受賞。記念式典には生産者や市民ら約800人が参加し、「福岡の八女茶の魅力」を発信しました。

1.記念式典会場の様子/2.県茶連蔵内名誉会長による挨拶/3.来賓の服部県知事による挨拶/4.玉露の部で23年連続となる「産地賞」を受賞/5.実行委員長三田村八女市長による主催者挨拶/6.県茶連桐明会長による開会挨拶/7.八女茶PR大使による茶山唄



福岡の八女茶PRイベント(全国お茶まつり)

2023年10月28日(土)～29日(日)に福岡市は大名ガーデンシティ、北九州市は小倉城公園で八女茶の魅力を発信するイベントを開催しました。
(写真は大名ガーデンシティ会場の様子)



第9回 八女新茶まつり

新茶の季節となるゴールデンウィークに開催される八女新茶まつりは、八女茶を広く内外に周知するためのイベントです。様々なアーティストによる演奏や踊り、八女茶娘クイーンコンテスト、お茶を使ったスイーツの販売、地元食材を使った飲食ブースなどが開催されます。

- 開催日時：2024年5月4日(土) 10:00～15:30 ※荒天時翌日順延
- 開催会場：八女市健康増進施設べんがら村(福岡県八女市宮野100番地)
- 内 容：
 - ・八女新茶の販売
 - ・八女新茶の一煎パック無料配布
 - ・お茶の美味しい淹れ方教室
 - ・お茶のテイスティング
 - ・第9回八女茶娘クイーンコンテスト
 - ・ステージイベント
 - ・マルシェ



【主催】八女新茶まつり実行委員会 【共催】八女商工会議所、福岡県茶業青年の会
 【後援】八女市、福岡八女農業協同組合、福岡県商工会議所連合会、八女市商工会、福岡県茶生産組合連合会、福岡県茶業振興推進協議会、福岡県茶商工業協同組合、八女茶卸協同組合、福岡県茶業青年団、八女市商店街連合会および飲食店部会、RKB毎日放送

昨年も開催
されました!

第8回八女新茶まつり

昨年の八女新茶まつりは、八女伝統工芸館駐車場及び鉄道記念公園で開催され、新茶を振る舞い、様々なイベントで来場者をお迎えました。

第8回八女茶娘クイーンコンテスト

クイーンに選ばれた3名は、八女茶を世界に広げるために様々なイベントに華を添え、八女茶をPRする役目を果たしました。



左4番目から甲斐 菜摘氏(八女茶娘準クイーン)、寺岡 はづき氏(八女茶娘クイーン)、小田 玲奈氏(八女茶娘準クイーン)



八女茶を学ぶ

八女茶ソムリエスクール

コンシェルジュコース〈初心者向け1日講座〉

日本茶ソムリエ、生産者、日本茶鑑定士など、多彩な講師陣が八女茶の魅力を分かりやすく伝えます。体験ありの充実のプログラムです。

募集要項

- 定員 各回8人
 - 受講費 7,700円(税込み)
 - 会場 八女市横町町家交流館
 - 応募方法 下記申し込み先電話番号(TEL 0943-23-4311)へ月曜休館
- ※各日、定員になり次第、締め切りとなります

講座スケジュール

- 9:50 受け付け
- 10:05 「八女茶を学ぶ」
- 11:00 「八女茶に触れる・おいしく淹れる」
- 食事休憩・八女市散策(自由行動)
- 13:30 「八女茶呈茶体験」
- 15:10 「八女茶コンシェルジュ認定書」授与式
- 15:30 解散

開講日(第2水・土曜)

- 2024年
- 4月10日(水)・13日(土)
 - 5月 8日(水)・11日(土)
 - 6月 8日(土)・12日(水)
 - 7月10日(水)・13日(土)
 - 8月10日(土)・14日(水)
 - 9月11日(水)・14日(土)
 - 10月 9日(水)・12日(土)
 - 11月 9日(土)・13日(水)
 - 12月11日(水)・14日(土)
- 2025年
- 1月 8日(水)・11日(土)
 - 2月 8日(土)・12日(水)
 - 3月 8日(土)・12日(水)

詳細は
こちらから!



こ が せい ちゃ ほん ぼ
株 式 会 社 古 賀 製 茶 本 舗

こ が ゆう すけ
代表取締役 古賀 祐介 氏

取引店 / 福岡銀行 八女支店



品質にこだわった八女茶を お客さまに届けるために

当社の歴史は文政2年(1819年)に初代である古賀平六が初めて焙烙製の茶を作り、大阪に販売したことが始まりです。

八女市で育った私は大学時代から家業を手伝いながら、農家さんとの交流を通じてお茶の世界に深く触れてきました。卒業してからは大阪でサラリーマンとして働いていましたが、26歳の時に帰福したことをきっかけに家業を継ぎ、2004年に社長に就任。2013年からは会長を務めています。

八女茶は日本緑茶全国生産量の2〜3%ほどしか占めておりません。生産量の多い産地と競争していく中で、お茶を生産する環境に恵まれた八女茶は品質で勝負してきました。JAや農家さんを含めて私たちは高い品質を求めて長年生産を続けてきたのです。

2023年は八女茶発祥600

年の記念の年でした。様々なイベントが開催される中、第77回全国お茶まつりが福岡で開催されました。全国茶品評会においては、八女の玉露が日本一に輝き八女茶は非常に高い評価を得ています。

品質についてはそれぞれのお茶屋がこだわりを持って生産の工夫をしており、機械や製造方法の違いでもお茶の味が変わります。そのわずかな味の違いでお客さまに選んでいただくためには、品質においての工夫を続けていかなければなりません。当社においても、品質を第一に考えた八女茶を生産しています。

八女茶の旨みを引き出すには、茶の選別、火入れ、焙煎、乾燥の一連の工程に工夫が必要です。まずは第一に原料の仕入れです。お茶を見て加工したらどうなるかを見極める目利きの部分も非常に

重要になります。各お茶屋で特色があり、茶の品種の選び方もそれぞれ違います。

そして、お茶を加工する工程も以前であれば手作業の部分がかなりありましたが、近年ではほぼオートメーション化され、なるべく人の手が茶に触れないよう、また金属探知機やウエイトチェッカーの導入など、安心安全なお茶の製造に心がけています。

特に火入れ・乾燥工程は重要で、鮮やかな緑色や香りを整えるために原料に合わせて細かい調整が必要です。試行錯誤を繰り返して、品のある味の八女茶の生産を求め続けています。

現在、当社は小売業者への卸売りが売上げの中心となっていますが、今後は店舗での販売や、新しい柱としてネット販売などの小売り事業に注力して多くの方に八女茶を届けていきたいと考えています。これからも様々なPRを行います。これからの魅力を発信しながら八女茶の魅力を発信してまいります。

会社概要

- 所在地: 〒834-0012 福岡県八女市内486
- 電話番号: 0943-24-1511
- 創業: 1819年
- 設立: 1987年

ホームページは
こちら



通販サイトは
こちら



株 式 会 社 吉 泉 園

取締役会長 吉泉 正幸 氏

取引店 / 福岡銀行 黒木支店



感動を与える八女茶を目指し

八女伝統本玉露をグローバル・ブランドに

当社の創業は1887年。初代吉泉辰蔵が元矢部線黒木駅前で茶店舗を開店し、お茶を再製加工して卸売り、小売業を営んでいました。その後、1951年頃から県外の主要都市に販路を拡大し、1958年頃にはお茶の需要の高まりから事業を拡大していきました。

1973年には現在の事務所、工場に移転。高所に位置する土地で、お茶の生産に適している恵まれた環境です。

私は、東京の大学を卒業した後、帰郷して商社で営業を行っていました。3年で家業を継ぐように言われていたため、営業が楽しくなってきたころでしたが、お茶の業界で働くことになりました。まだ茶業のことを詳しく知らなかった頃、茶手もみの手法を

教わり、それが楽しくて生産者のもとで茶手もみを続ける日々を過ごしました。そのような中で、八女茶保存会を発足。八女茶の手もみの考え方は機械もみの効果を高めるためのものとテーマを決めて活動を続けました。

この茶手もみの経験は、お茶の良し悪しを見極める糧となり、原料となる荒茶の入札時の値付けに大いに役立っています。

八女茶の魅力として、玉露を生産するための条件に恵まれた土壌と気候があります。特徴として赤土や結晶片岩などの土壌有機物がまじりあっているため、根が上質な栄養を吸収します。また、標高250m霊巖寺周辺では朝霧が発生し、葉にとっても優しい環境になっています。このような環境が高級茶の栽培に適して

おり、日本一の八女伝統本玉露はこの地で生産されているのです。

現在の八女の茶畑の面積は1,510ha、その中で八女伝統本玉露の茶畑は12haの面積しかありません。生産量では非常に少ないですが、品質は最上級である八女伝統本玉露を5年以内に日本緑茶のトップブランドにすることを目指し、ブランディングに取り組んでいます。日本緑茶全体で考えたときに、八女伝統本玉露のブランディングなくして八女茶の将来はないと考えています。

更に、日本緑茶のマーケットを海外に広げるべく、マーケティング戦略も推進しています。販売からはいるのではなく、ブランディングから仕掛けていくことで海外の日本緑茶の価値を高めます。その結果として、日本緑茶に携わるすべての人に利益として還元されることを目標にこれからも取り組んでまいります。

会社概要

- 所在地: 〒834-1213
福岡県八女市黒木町本分904
- 電話番号: 0120-32-4188
- 創業: 1887年
- 設立: 1976年

ホームページは
こちら通販サイトは
こちら